



『いまり』の多様な地域づくりのための道づくり計画 事後評価委員会資料

事務局 建設農林水産部 道路河川課

『いまり』の多様な地域づくりのための道づくり計画【佐賀県・伊万里市】

計画概要

市内の多様な道路による地域間道路ネットワークを整備することで、交通の利便性はもとより、緊急時の避難道路の確保など地域への安全安心の提供や切捨て間伐から搬出間伐への転換による林業振興を図るとともに、産業、観光、文化、交流など多様な地域づくりの促進を支援する。

地域再生の区域

佐賀県伊万里市の全域

地域再生のイメージ

交通の利便性、地域の安全・安心の提供

緊急時の避難路の確保及び地域間交流の促進

計画期間

平成27年度～平成33年度(令和3年度)

地域再生計画の目標

項目	現状	目標(R3)
森林整備(間伐面積)の促進	74 ha	100 ha
地域産材活用の促進	2,000 m ³	3,000 m ³
交流人口の増加	1,243千人	1,765千人
道路施設の安全確保	88.5 %	91.4 %

※最終年度は事後評価を実施し、目標の達成状況を確認し公表

目標達成のために行う事業

<道整備交付金>

市道:1,640m、林道:4,350m

総事業費 1,488百万円

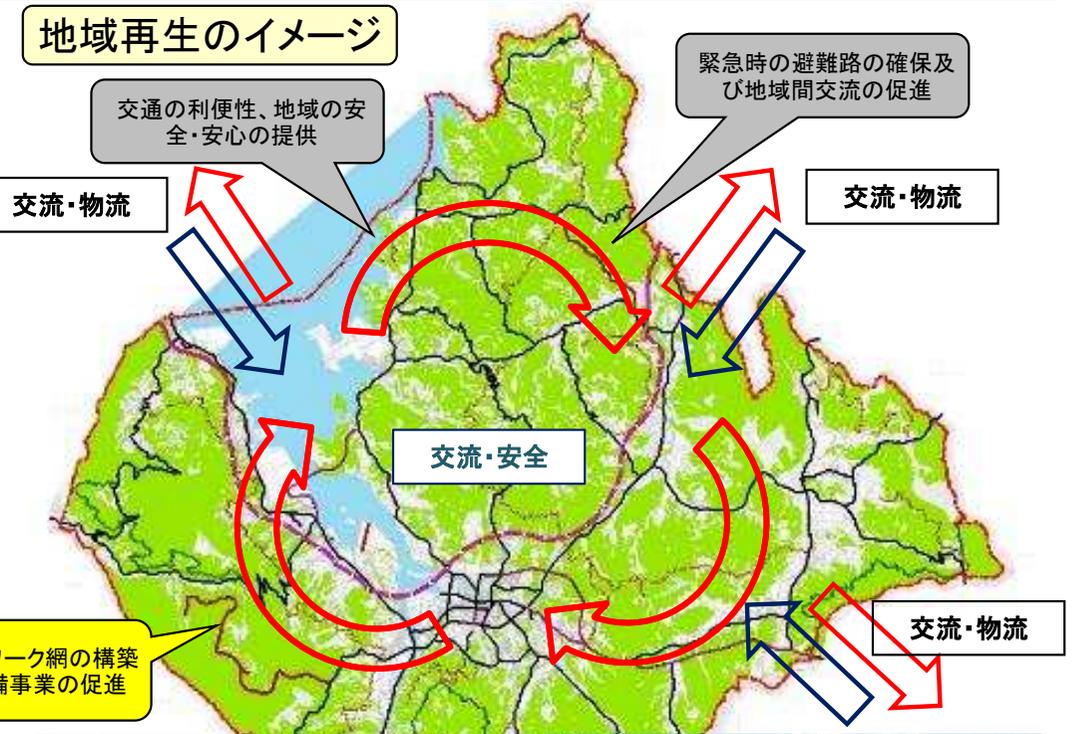
市道 292百万円(うち国費 146百万円)

林道 1,196百万円(うち国費 538百万円)

<その他の事業>

交通安全施設整備事業、伊万里産木材利用促進事業

グリーン・ツーリズム推進事業 他



事業の評価

①林道整備事業について(交付金活用事業)

②市道整備事業について(交付金活用事業)

③その他事業の評価について

①林道整備事業について

【目的】

林道烏帽子岳線、林道二里・下分線が位置する東山代町滝野地域は、古くから農林業を主産業として発展してきた歴史ある地域であり、これら両路線の利用区域の森林面積は528haで、そのうちの約7割は、人工林、なかでも間伐や伐期を迎えた林分が半分を占めている。

しかしながら、急峻な地形や山麓の家屋・農地等が密集していることから路網が未整備のため森林整備が立ち遅れている状況である。そのため、森林施業や森林整備を促進する森林管理道としてだけでなく、地域集落の産業、観光、文化、生活の交流基盤として、また災害時の避難路として大きな役割が期待できることから林道整備をすすめる。

【実績】

路線名	工区	開設年度/開設延長(m)							計	路線計	合計	目標値
		H27	H28	H29	H30	(R1)	R2	R3				
烏帽子岳線	1工区		261	307					568			
	2工区						415		415			
	3工区	77	165				39		281			
	4工区		194			118			312	1,576		
二里・下分線	1工区	90		216					306			
	2工区				120			320	440			
	3工区		95	86	192	368	446	339	1,526			
	4工区								0	2,272	3,848	4,350

【評価】

今回の林道整備により、路網の整備が遅れている地域に事業が実施されたことにより、森林へのアクセスが容易になり、今後、間伐等の森林施業が適切に実施することが可能となったと考える。

林道整備箇所先線において、未間伐地域が存在するため、引き続き事業実施を行いたい。

②市道整備事業について

【目的】

市道重橋・中山線、市道東田代・相知線は、国・県道など主要幹線道路を補完し、地域集落間を結ぶ主要な道路であると同時に地域集落内の生活道路であるが、幅員が狭幅であり、また視距、縦断勾配など構造上、車両通行や集落生活に支障をきたしており、早急な整備が望まれている。

市道里21号線は木質資材の集積や加工品の搬出拠点である伊万里湾工業団地地域に位置し、資材の搬入や搬出など生産活動や防災において地域に欠かすことができない重要な施設であるが、里21号線に設置している里団地橋において、鉄筋腐食などの損傷が確認され、また海岸部という環境下にあることから今後急速に劣化損傷が進行することが予想されるため早急な対策が必要となっている。

このため拡幅・改良工事を実施し多様な地域づくりの基盤となる市道整備をすすめる。

【計画】

市道整備延長 L=1,640m

- ・重橋・中山線改良工事 L=1,050m
(1工区) L=410m
(2工区) L=415m
(重橋工区) L=225m
- ・東田代・相知線改良工事 L=580m
- ・里21号線(橋梁)補修工事 L=10m

【実績】

市道整備延長 L=1,075m

- ・重橋・中山線改良工事 L=485m
(1工区) L=0m
(2工区) L=260m
(重橋工区) L=225m
- ・東田代・相知線改良工事 L=580m (R1完了)
- ・里21号線(橋梁)補修工事 L=10m (H29完了)

【評価】

今回の市道整備により、観光農園等へのアクセスが容易になったことによる交流人口の増加や木質資材等の物流における生産性の向上に寄与することが出来たが、全ての路線を整備することが出来ていないことから、引き続き市道整備を進めていきたい。

③その他事業について

伊万里産木材利用促進事業

経費の補助を実施することにより、森林整備の促進、林業経営の安定化につなげることが出来た。

グリーン・ツーリズム推進事業

新型コロナウイルス感染症の影響により計画事業の実施ができなかったため、今後は、都市住民と農山漁村との交流促進に向けた事業を推進していきたい。

地域の元気推進事業

各地域の魅力向上により、交流人口の増加に結びついた。また、令和元年度より、住み慣れた地域を未来に向けて維持していくために、地域の元気推進事業の対象事業を広げるとともに交付金額を拡充し、新たに地域づくり推進事業を展開している。このことにより、各地域のまちづくり活動が活性化し、より一層交流人口の増加が図られた。

橋梁長寿命化修繕事業(橋梁管理事業)

老朽化した橋梁の長寿命化を行い、予算の平準化や費用の軽減を図れたため、効率的に対策を講じることが出来たとともに、道路施設の安全確保につなげることが出来た。

交通安全施設整備事業(一種・二種)

交通安全施設の整備を行ったことから、交通の安全性が上昇し、観光及び林業に対してプラスの効果をもたらすことが期待される。

指標の評価

指標1 林業の振興と森林整備の促進について

指標2 地域産材活用の促進について

指標3 交流人口の増加について

指標4 道路施設の安全確保について

指標1 林業の振興と森林整備の促進について

【目的】

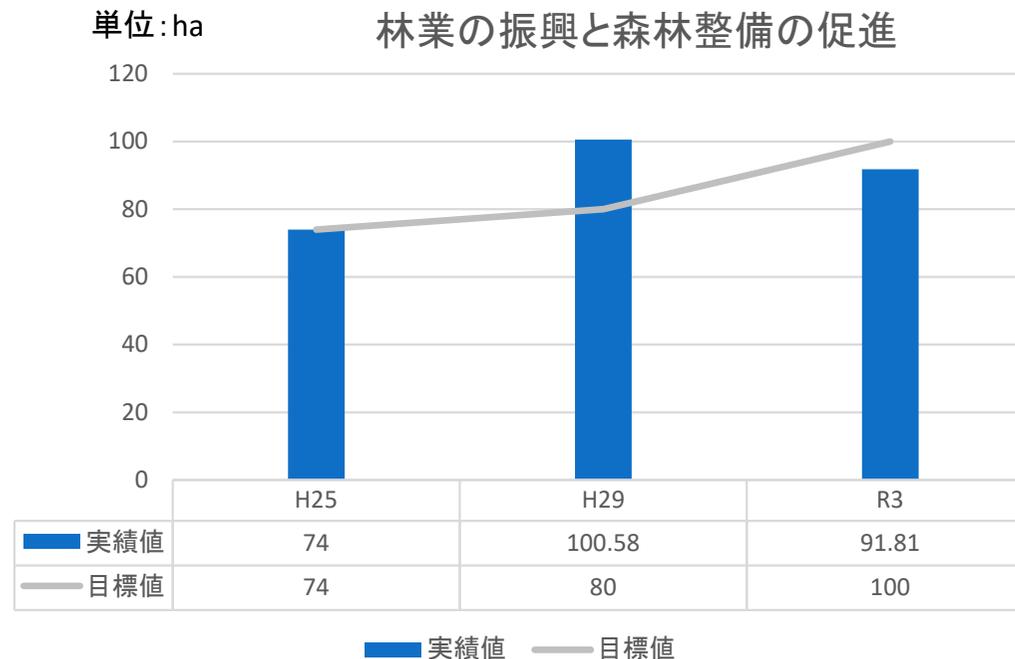
市内全域の農山漁村集落においては、過疎化、高齢化、農林業離れなど後継者不足による耕作放棄地の増大、林業低迷による山林の荒廃など様々な問題を抱えており、集落としての形成存続にも大きな影響を及ぼしている。

このようなことから、森林施業、治山事業などの活動の円滑化を図るため林道を整備し、森林所有者の施業意欲を向上させ、森林整備の推進・地域産業の活性化を図る。

数値目標(間伐面積の増加)

74ha(H25) → 80ha(H29)【実績:100.58ha】 → 100ha(R3)【実績:91.81ha】

【実績】



【評価】

林道整備により森林へのアクセスが容易になったことから森林整備の促進が図れたが、最終目標値を達成することが出来なかったため、更なる林道整備の推進を図りたい。

指標2 地域産材活用の促進について

【目的】

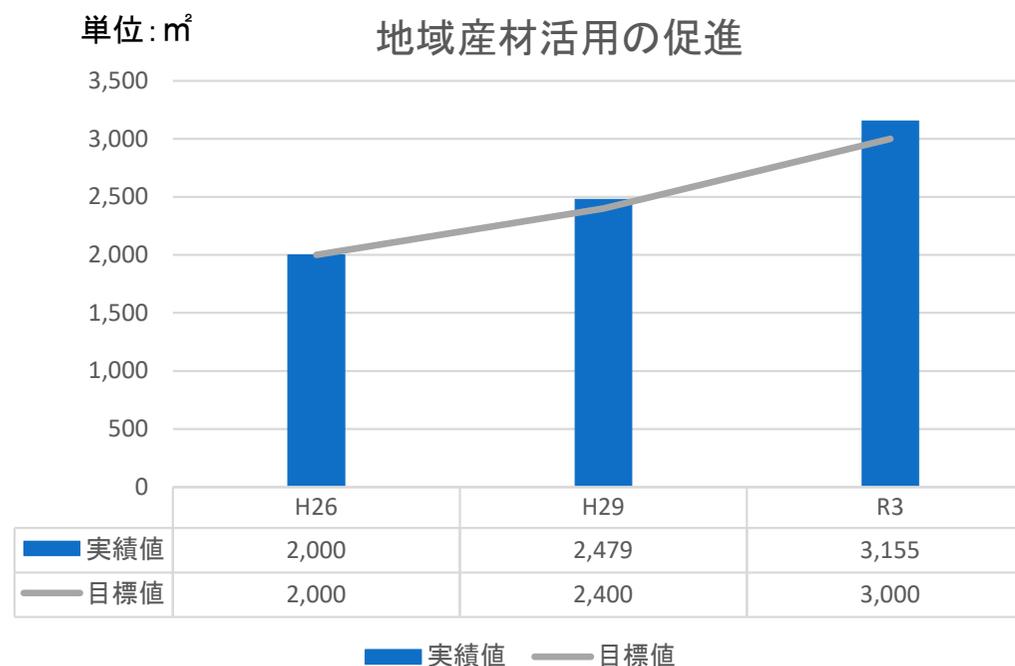
伊万里湾の臨海部に形成された木材コンビナートでは、木材の加工や流通の拠点としての整備が進み、集成材の材料となるスギなどの素材の需要が増大しており、安定した素材の生産供給が求められている。

このため、市内の木材市場、製材所などとの連携による木材産業の振興や市独自の事業である伊万里産木材利用促進事業を展開し森林所有者への利益還元につなげるとともに森林施業への意欲向上を図る。

数値目標(素材生産量の増加)

2,000^{m³}(H26) → 2,400^{m³}(H29)【実績:2,479^{m³}】 → 3,000^{m³}(R3)【実績:3,155^{m³}】

【実績】



【評価】

林道整備の効果として、適切な森林施業の実施が可能となり、最終目標値を達成することが出来た。

指標3 交流人口の増加について

【目的】

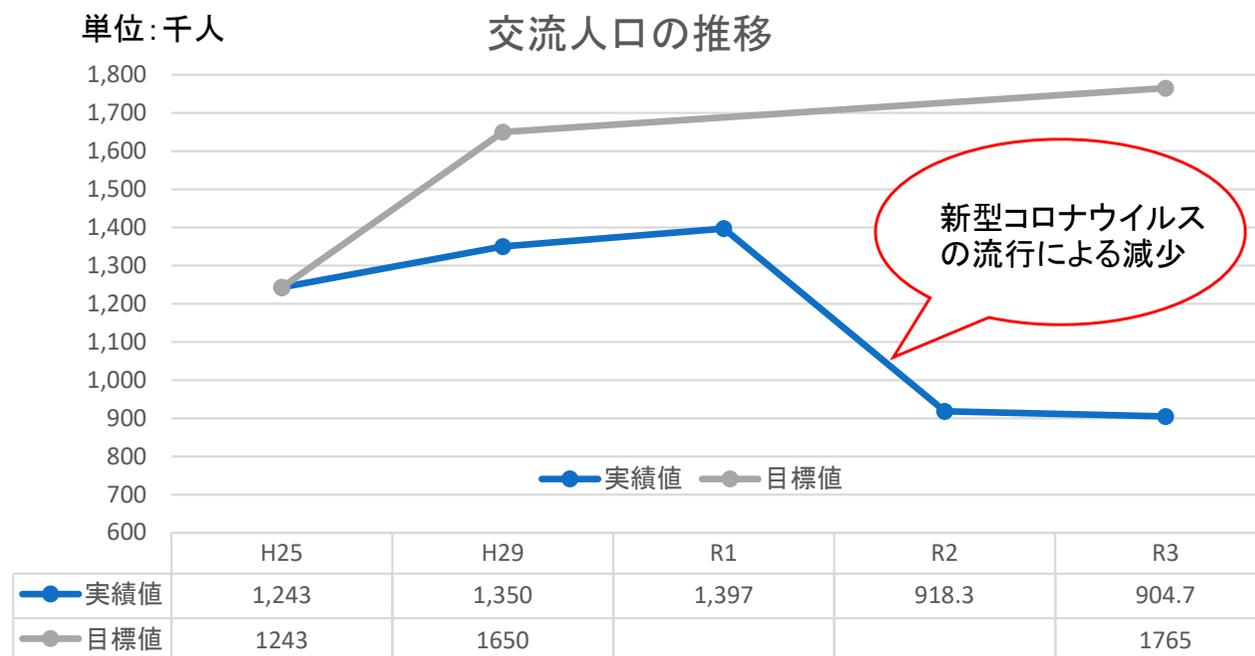
焼き物の最高峰と称賛される鍋島の伝統を受け継ぐ伊万里焼をはじめとして、農産物においては伊万里牛や伊万里梨などが市場で高い評価を受け伊万里ブランドとして定着しており、また水産物についてもクルマエビをはじめとする水産物ブランドの確立を推進している。

そのような本市の強みである伊万里ブランドの普及拡大による誘客に努めるとともに、農業・農山漁村の良さに触れることが出来るグリーンツーリズムなどの体験型観光の推進を図るなど交流人口の増加を目指す。

数値目標(観光客数の増加)

1,243千人(H25) → 1,650千人(H29)【実績:1,350千人】 → 1,765千人(R3)【実績:904.7千人】

【実績】



【評価】

新型コロナウイルスの感染拡大により行動制限等の影響を受けて、令和2年度から交流人口が大幅に減少し、最終目標値に到達することが出来なかった。今後は、感染対策の緩和に合わせて、福岡都市圏からの集客に向けてPR事業強化を実施し、再度交流人口の増加につなげていく。

指標4 道路施設の安全確保について

【目的】

主要幹線道路の整備が進むなか、市道においては主要幹線道路を補完するとともに地域集落間を結ぶ道路である。また、地域集落内の生活道路として生活に欠かすことのできない足元道路としての役割を担っているため、市道の整備を進めることで過疎化、高齢化の進む農山漁村集落における利便性の向上など生活環境を改善するとともに、緊急車両等の連絡も可能となることから安全を実感できる環境を目指す。

数値目標(施設の健全度の向上)

88.5%(H27) → 89.6%【実績:89.89%】 → 91.4%(R3)【実績:91.91%】

【実績】

項目	詳細	総数	H26(H25調査)				H27(基準値)			H29(実績)			R3(実績)		
			安全対象	健全数	要対応数	健全度	実績	健全数	健全度	実績	健全数	健全度	実績	健全数	健全度
照明灯		306	26	3	23	11.54	9	12	46.15	18	21	80.77	23	26	100.00
法面		28	28	21	7	75.00	0	21	75.00	0	21	75.00	4	25	89.29
橋梁	7m以上	275	275	206	69	74.91	0	206	74.91	1	207	75.27	8	214	77.82
橋梁	7m未満	462	462	459	3	99.35	2	461	99.78	3	462	100.00	3	462	100.00
計		1,071	791	689	102	87.10	11	700	88.50	22	711	89.89	38	727	91.91
			H25年度道路ストック、橋梁調査における要対応数を基準値とし、その解消を目標とする。小規模橋梁(7m未満)は現時点では調査が完了していないため、全箇所を健全(うち3箇所は要対応、里団地舎)とし、事後保全型管理のため随時対応し、健全度を保つことを目標とする。				H27までの実績			H29までの実績 ○道路照明灯 9基 ○橋りょう補修 2橋 坂口橋、里団地橋			R3までの実績 ○道路照明灯 5基 ○道路路面 4箇所 中山・上内野線1工区 中山・上内野線2工区 みどりヶ丘1号線1工区、重橋・中山線 ○橋りょう補修 9橋 坂口橋、里団地橋、城野橋、郡藪1号橋 瓶山橋、赤坂橋、立花跨線橋、小川橋 戸次郎橋		

【評価】

目標値を概ね達成することが出来たが、対策が必要な施設はまだあり、今後も引き続き対策を講じていきたい。

計画全体の総合評価

【評価】

道整備交付金を活用し、林道整備および市道整備を一体的に実施したが、資材等の高騰もあり、最終目標値まで到達することは出来なかった。一方で、指標においては、新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限の影響を受け、到達できていない目標もあるが、伊万里産木材の生産量の増加や道路施設の健全度の向上を図ることが出来たため、一定の効果を生むことが出来たと考えている。

特に、伊万里産木材の生産量の増加については基準値から大幅に増加させることが出来たことから、林道整備事業や伊万里産木材利用促進事業の効果が非常にあったものと考えており、今後も継続して事業を進めていきたい。

【今後の方針】

林道整備および市道整備ともに最終目標値まで到達できていないことから今後も引き続き事業を進めるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により国産材の価格が高騰しているため、伊万里市内における森林整備が加速することが予測されることから、木材搬出の基盤となる林道等の整備が急務であると考えている。その他にも、人口減少や高齢化、公共インフラの老朽化など時々刻々と変化する社会情勢に応じたきめ細かな施策を展開していく。